

## キクの病害虫の発生状況（6月中下旬）

### 1 白さび病

巡回調査では発生が確認されませんでした（図1）。発生がみられる場合は防除を実施してください。また、多湿条件が続くと発病しやすくなるので、予防散布を心掛けてください。また、本病は、キクの品種によって発病に差があるので、発病しやすい品種では、防除を徹底してください。

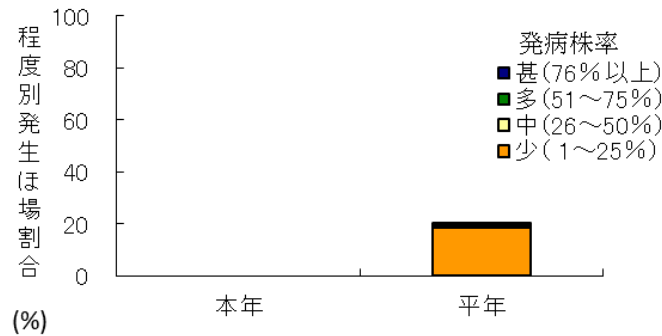


図1 白さび病の発生状況

### 2 アブラムシ類

発生ほ場割合は平年並でした（図2）。今後、有翅虫の飛来が多くなることが予想されます。気温の上昇に伴って急激に増殖することがあるので、ほ場をよく観察し、発生が見られる場合は防除を実施してください。

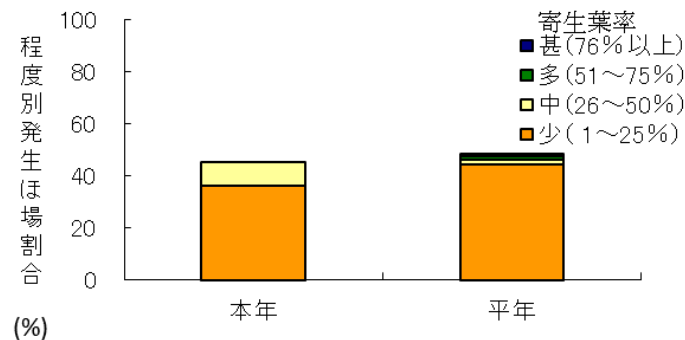


図2 アブラムシ類の発生状況

### 3 ハモグリバエ類

巡回調査では発生が確認されませんでした（図3）。寄生種は、ナモグリバエが主体で、上位葉に発生が見られる場合は、防除を実施してください。

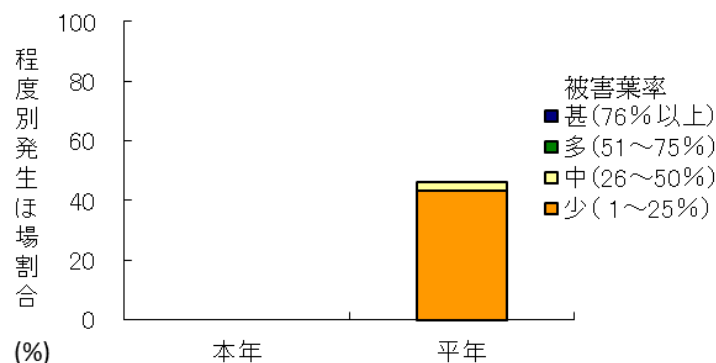


図3 ハモグリバエ類の発生状況

#### 4 アザミウマ類

発生ほ場割合は平年並でした（図4）。ほ場周囲の雑草が発生源となることが多いので、除草を徹底してください。発生種がミカンキイロアザミウマの場合は、効果の高い薬剤が少ないので、薬剤の選択に注意してください。また、本種は、TSWV等のウイルスを媒介するので注意が必要です。

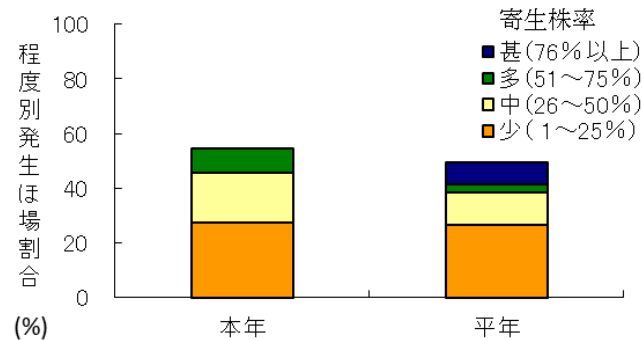


図4 アザミウマ類の発生状況

#### 5 ハダニ類

発生ほ場割合は平年より高い状況でした（図5）。多発すると防除が難しいので、ほ場をよく確認して、低密度時から防除を徹底してください。薬剤防除を行った場合には、防除の2～3日後に葉裏を観察し、効果が十分でない場合には、異なる系統の薬剤で防除を行うなど適切に対応してください。

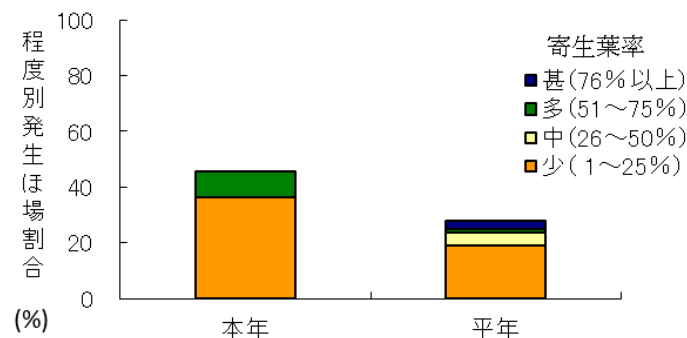


図5 ハダニ類の発生状況

#### 6 オオタバコガ

巡回調査で寄生が確認されており、生長点の加害が確認されています。フェロモントラップ調査では、既に誘殺が確認されています（図6）。幼虫が寄生する生長点付近を中心によく観察し、発生が見られた場合には防除を実施してください。

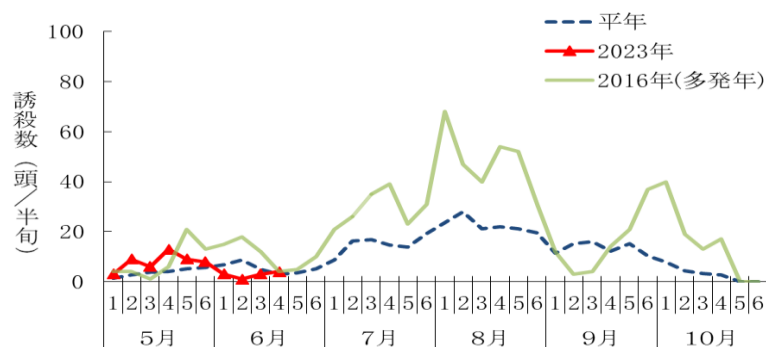


図6 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況  
(伊達市保原町:キク)

- 情報内容への質問や要望は、福島県病虫害防除所まで御連絡ください。

Tel:024-958-1709      Fax:024-958-1727      e-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp